

第149回エコ塾『資源循環で紡ぐ私たちの未来 ～注目素材ごとにみる取組事例～』

衣料品のサーキュラーエコノミーと
ECOMMITの循環スキーム

2024.9.11

ECOMMIT

■ アウトライン

- ECOMMIT事業概要
- 国内外におけるアパレル関連動向
- ECOMMITの循環スキーム
- 九州における取組状況や展望



■ アウトライン

- **ECOMMIT事業概要**
- 国内外におけるアパレル関連動向
- ECOMMITの循環スキーム
- 九州における取組状況や展望





ECCOMMIT

地球にコミットする循環商社

すべての必要と

すべての不要をつなげる。

捨てない社会をかなえる。

会社名

株式会社 ECCOMMIT ([Webサイト](#))

創立年月日

2007年8月17日 (2008年10月1日設立)

本社所在地

鹿児島県薩摩川内市

事業内容

循環型社会に向けたインフラ・システム開発
及びリユース・リサイクル事業

主要株主様



伊藤忠商事株式会社



日本郵政キャピタル



Global Infrastructure Management



Kips



NCBベンチャーキャピタル



鎌倉投信



NEX NIPPON EXPRESS

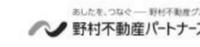
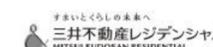


みずほキャピタル

It's a beautiful day.

The SAZABY LEAGUE

取引実績



40+



日本における 廃棄の問題

不要な衣類の廃棄率

約 **70%**

1年間の衣類廃棄量

約 **47** 万t

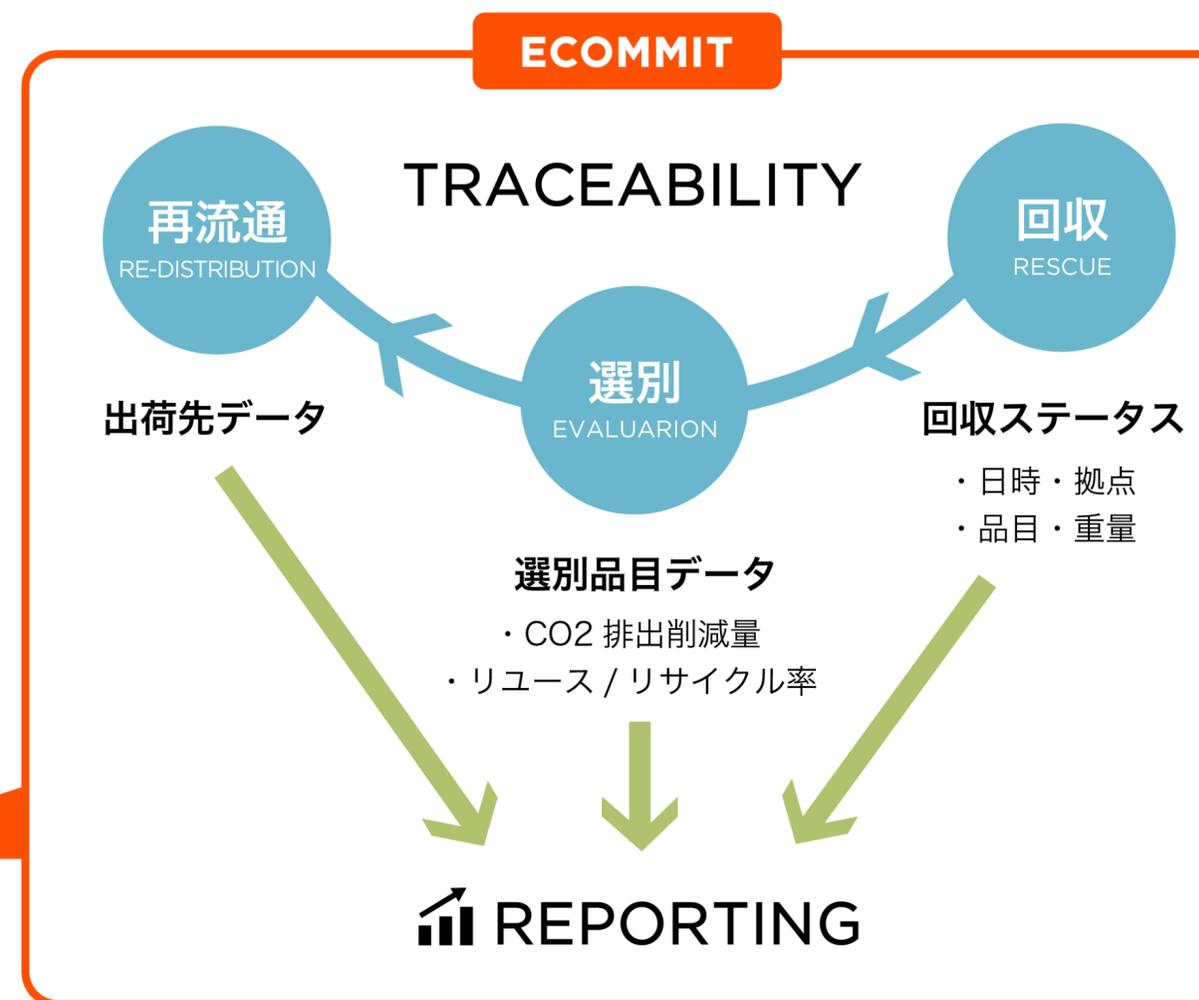
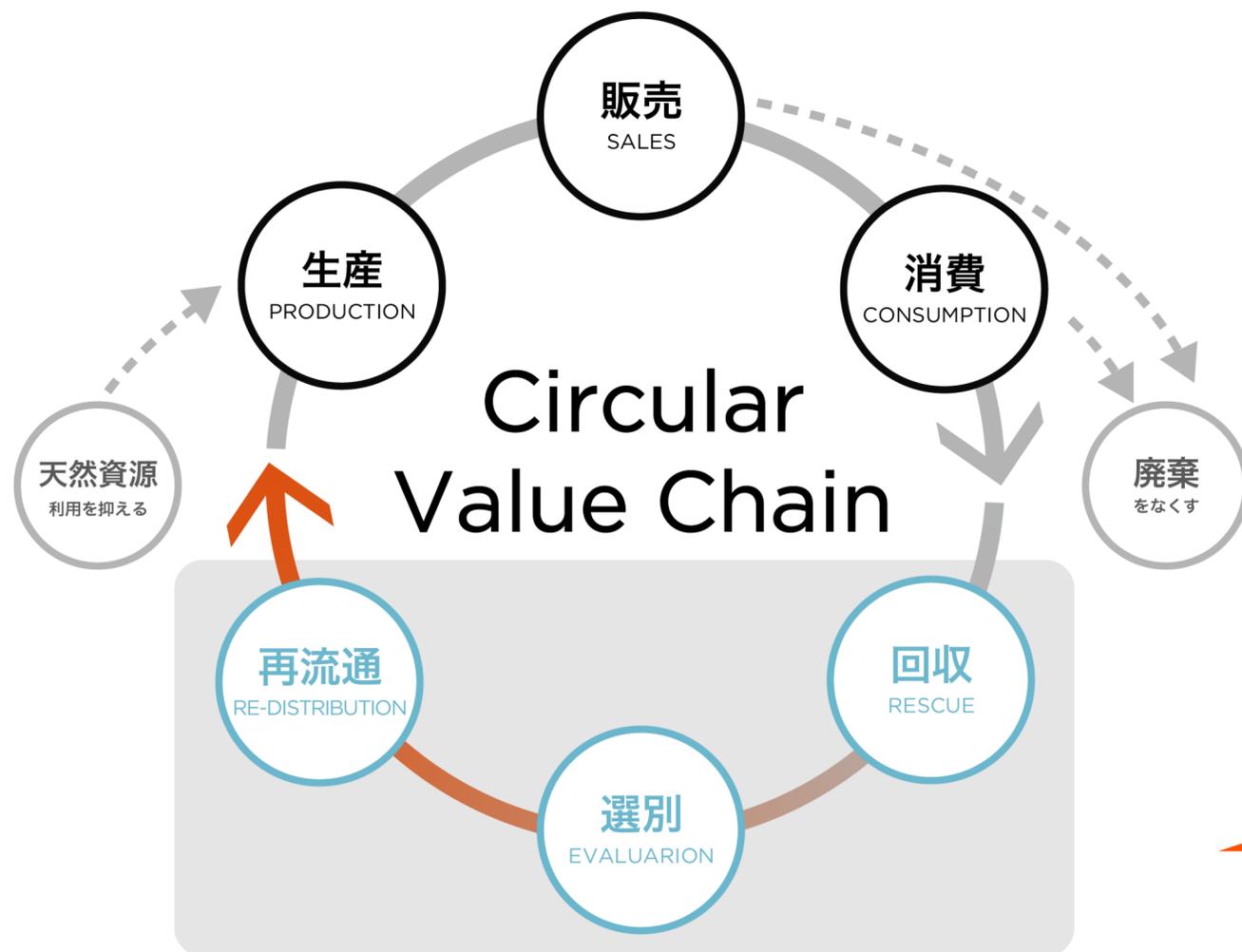
(約15億着)

● ● ●
圧倒的に循環のインフラが足りていない

= ECOMMIT が解決しようとしている課題

事業全体概要

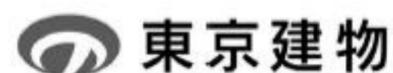
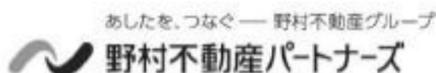
不要品の回収・選別・再流通を一気通貫で行うことで、
作り手と共創し、あらゆるものが循環できる社会のインフラを構築しています。



全国対応型の”回収物流ネットワーク”、回収した物の経済的価値を最大限活かす”選別ノウハウ”を持ち、手間の掛かる工程を一括で担うことで、循環のサイクルをワンストップで実現

自社開発のトレーサビリティシステムにより、回収から再流通まで”モノの流れ”をデータ化し、リユース・リサイクル率の算出、CO2削減量をレポート

多くの民間企業様や地方自治体様との協業実績



40+



鹿児島県大崎町
屋久島町
京都府亀岡市
埼玉県さいたま市
佐賀県佐賀市…



選別拠点における活動

活動拠点の広さ、選別力を強みに全国各地にて資源循環を推進

全国7拠点の自社循環センターにて資源循環を推進



- 各拠点に自社トラックを保有
- 産業廃棄物収集運搬業許認可保有（全国24都道府県）

衣類だけではなく生活用品全般の循環を実現

対応可能製品群※1,2



衣類・ファッション雑貨

衣類、アクセサリ、腕時計、鞆、財布、ベルト、帽子、サングラス、ネクタイ、メガネ、髪飾り



雑貨

スポーツ用品、アウトドア用品、釣り具、楽器、ガーデニング用品、スーツケース、楽器、ヘルメット



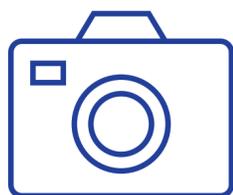
工具

手工具、電動工具、工具箱



食器・キッチン用品

お皿、コップ、茶碗湯呑、カトラリー、鍋、フライパン、やかん、キッチンツール



家電

音楽プレイヤー、ラジカセ、アンプ、ビデオデッキ、カセットデッキ、スピーカー、ミシン、編み機、カメラ



おもちゃ

ゲーム機、ゲームソフト、ミニカー、ブロック、カード、プラモデル、ラジコン、フィギュア、ぬいぐるみ、知育玩具、乗用玩具



家具・インテリア

タンス、クローゼット、テーブル、イス、ソファ、本棚、ベッド、食器棚、メタルラック、絨毯、カーペット、照明器具、置物、絵画・額縁、置き時計、掛け時計

※1：壊れ、破れ、欠品、ひどい汚れやカビなどがある場合は引き取り不可となります。

※2：ご依頼内容によっては、上記製品においても取り扱いが難しい場合がございます。

リユース流通チャンネル

創業時から培った**国内外の多様な販売チャンネル**

<流通先一例>



- ✓ 海外卸販売ネットワーク
- ✓ 17年で築いた海外リユースネットワーク



- ✓ BtoBグローバルオンラインオークション
- ✓ ASEAN全域をターゲットにしたオンライン競り市

※リユース販売先は販売先の商流を確認・モニタリングの上、取引を実施

リサイクル流通チャンネル

多様な素材のリサイクルチャンネルをアライアンス形成

<リサイクル例>



- ✓ 再生ポリエステル繊維
- ✓ 伊藤忠商事のリサイクルポリエステルブランド「RENU」



- ✓ フェルト素材
- ✓ 古着を裁断し綿状にした自動車部品向けのフェルト

※実際のリサイクル処理はパートナーの事業所で実施

循環の見える化

回収～再流通まで、**全ての工程をデータ化して管理**することで、
取組の実績や成果を可視化する環境レポートを提供しています。

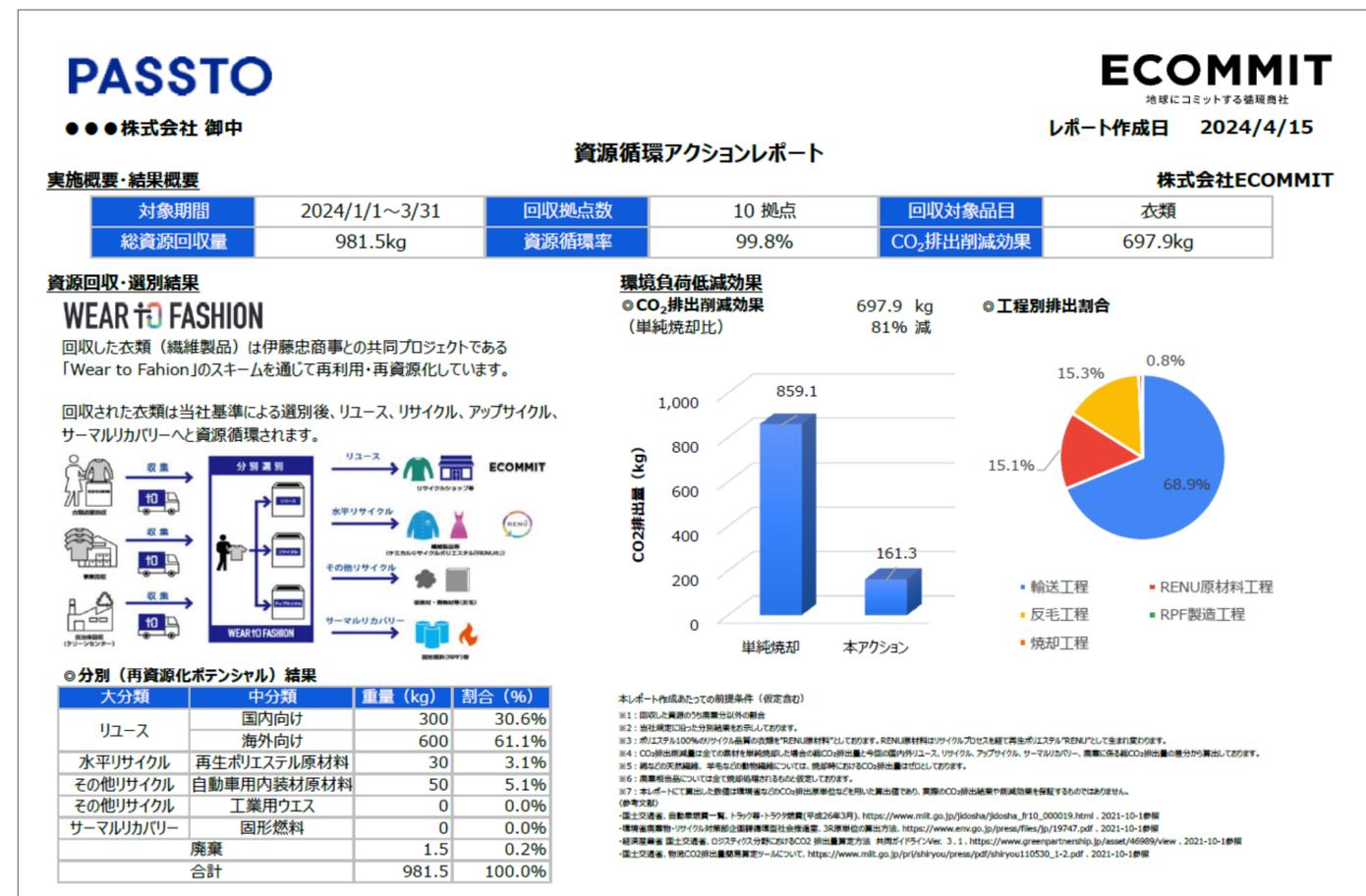
トレーサビリティダッシュボード

ご担当者様のデバイスからいつでも回収拠点ごとの回収量やリユース・リサイクル率をご確認いただけます。（専用URLを発行）



環境インパクトレポート

3か月に一回程度、CO2排出削減量を記載した資源循環アクションレポート*をご提供します



*現在は衣類のみ対応

■ アウトライン

- ECOMMIT事業概要
- 国内外におけるアパレル関連動向
- ECOMMITの循環スキーム
- 九州における取組



欧州における資源循環に向けた取組

- 欧州委員会は2022年3月に「持続可能な循環型繊維戦略」を公表。2030年までにEU域内で販売される繊維製品を、耐久性があり、リサイクル可能で、リサイクル済み繊維を大幅に使用し、危険な物質を含まず、労働者の権利などの社会権や環境に配慮したものにする、との目標を掲げている。
- 我が国の繊維産業が、引き続き、国際競争力を維持し続けるためには、欧州等における環境配慮や繊維リサイクルに適合した取組を支援しつつ、我が国が世界に先駆け繊維リサイクルシステムを構築し、欧州等のルール形成にも貢献していくことが重要。

「持続可能な循環型繊維戦略」の提言

- **デザイン要件の設定**
エコデザイン規則案の施行後に、易リサイクル性、リサイクル済み繊維の混合等の要件を設定。
- **情報提供の強化**
エコデザイン規則案の一部として「デジタル製品パスポート」を導入。環境面での情報提供を義務化。
- **過剰生産・過剰消費をやめる**
ファストファッションは持続的でなく、「時代遅れ」と指摘。循環性原則に基づいたビジネスモデルへの転換。
- **未使用繊維製品の廃棄をやめる**
エコデザイン規則案において、未販売や返品された繊維製品の廃棄の抑制策として、廃棄や処分に関する情報開示を義務づけ。場合によっては廃棄禁止も検討。
- **拡大生産者責任の見直し**
廃棄抑制や再利用準備などに向けた費用の徴収におけるエコモデュレーションを導入。また、繊維製品廃棄物の再利用準備とリサイクル目標の義務化も検討。
- **グリーンウォッシュ対策**
真に持続可能な繊維のための環境に関する主張の信頼性確保の重要性。

衣料品の廃棄禁止に関する欧州等の制度動向

EUでは、2024年5月に「エコデザイン規則（ESPR）」が欧州理事会で採択され、将来的な未使用製品の廃棄禁止等が定められた。他の加盟国に先行して、フランスでは、2020年2月より「循環経済法（AGEC法）」により繊維製品の売れ残り商品の廃棄を禁止している。

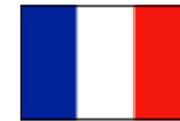


EUエコデザイン規則（ESPR）における未使用製品の廃棄禁止に関する概要

ESPRは、2024年5月に欧州理事会にて採択。修理可能性、リサイクル可能性、炭素・環境フットプリント等のエコデザイン要件について「デジタル製品パスポート」を通じた消費者への情報提供を義務づける他、未使用の繊維製品の廃棄禁止も盛り込まれた。

- 事業者は売れ残り消費財について、**廃棄した商品の数量とその理由を毎年報告**しなければならない。
- 加えて、同規則案の**施行2年後**からは、**売れ残った衣料品、衣料用付属品、履物を対象に未使用製品の廃棄が禁止**される。
- **小規模企業（Small and micro companies）**は禁止規定の適用が**除外**されるほか、**中規模企業（medium size companies）**に対しては**施行から6年間の猶予期間**が認められる。

フランス循環経済法（AGEC法）における規定

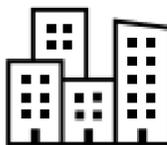


他の欧州諸国に先行して、フランスでは、2020年2月に施行された循環経済法（AGEC法）第35条において、**2022年1月1日までに繊維製品の売れ残り商品の廃棄を禁止、再利用やリサイクル、寄付を義務付けた。**義務違反の際の罰金は1500€。

出典：European Parliament「Deal on new EU rules to make sustainable products the norm」
(<https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20231204IPR15634/deal-on-new-eu-rules-to-make-sustainable-products-the-norm>)
独立行政法人日本貿易振興機構
「EU、エコデザイン規則案で政治合意、未使用繊維製品の廃棄禁止へ」
(<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/12/ed09003e4ac32460.html>)
「EU理事会、エコデザイン規則案で合意、未使用繊維製品の廃棄禁止を目指す」
(<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/05/4daa35d637dd4941.html>)
「プラスチック、繊維製品の廃棄物削減に向けて進む官民の取り組み(フランス)」
(<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2021/1101/3392080adf7bb567.html>)
「循環経済法が2月に施行、循環経済型社会へ大きな一歩(フランス)」
(<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2020/0601/d20d98ef8e3131f1.html>)

情報開示の動向（企業サステナビリティ指令報告：CSRD）

- Non-Financial Reporting Directive（非財務情報報告指令：NFRD）の課題を解決するため、Corporate Sustainability Reporting Directive（企業サステナビリティ報告指令：CSRD）が成立。CSRDでは対象企業の条件が詳細化され、対象となる企業が増加。

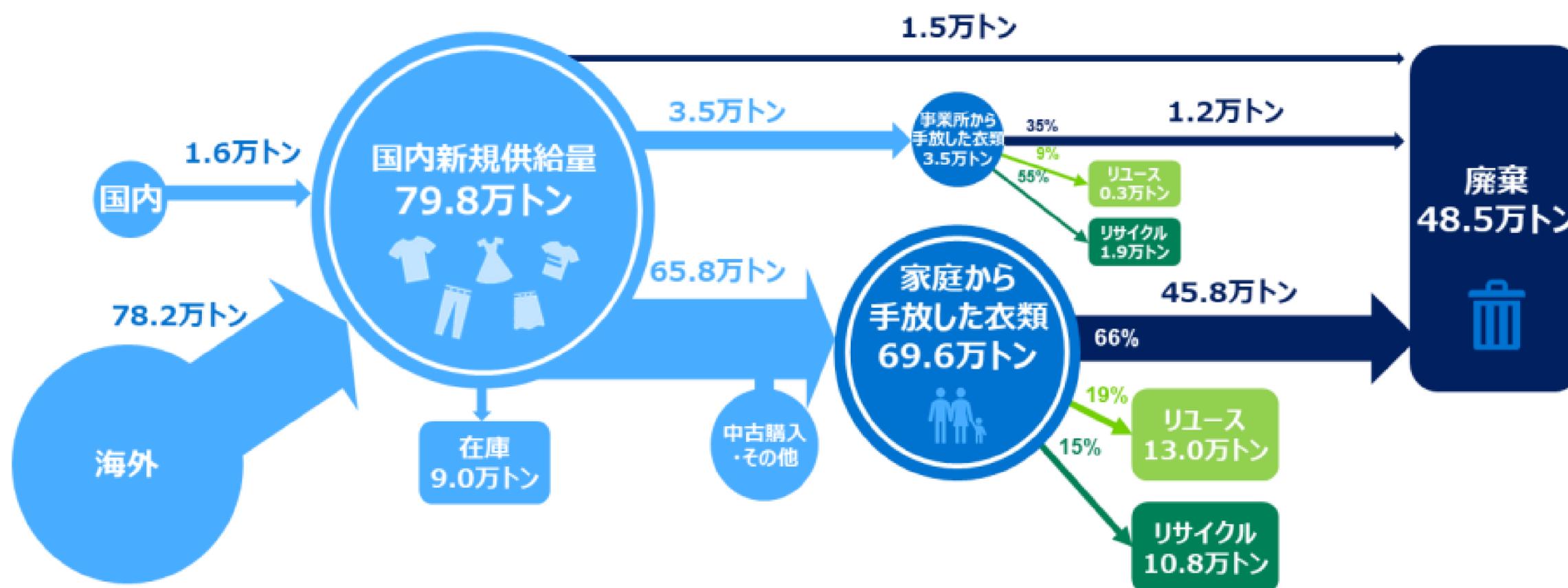
	NFRD	CSRD
適用範囲の拡大	大規模な公共関心事業体（PIEs）に限定 適用対象企業：約11,000社 	EU内の全ての大企業およびEU市場に上場している中小企業に適用 適用対象企業：約50,000社 
ダブルマテリアリティの原則の導入	「ダブルマテリアリティ」の考え方は採用していたものの、曖昧な要求であったため、適切に対応しない企業も散見	企業の活動がサステナビリティに与える影響（外部影響）と、サステナビリティ問題が企業の業績に与える影響（内部影響）の両方に焦点を当てる「ダブルマテリアリティ」の原則を明確に導入 
開示の詳細度	ビジネスモデル、ポリシー、ポリシーの結果、リスクマネジメントプロセス、KPIなど開示要求していたものの、開示の具体的内容について要求されていない	ビジネスモデル、戦略、ポリシー、リスクマネジメントプロセス、およびサステナビリティに関連する主要なKPIなど詳細な情報提供を要求 
第三者による保証の要求	監査法人などが非財務情報の開示を確認することを求める程度で、第三者保証の要求は無し	サステナビリティ報告に対する第三者による保証を義務付ける最初のEU指令 
デジタル化とアクセスの向上	開示箇所はマネジメントレポート内での開示を原則としつつ、マネジメントレポート内で開示箇所を提示する場合は、異なる媒体での開示も容認	報告された情報のデジタル形式での提出を要求 情報はタグ付けされ、EUが創設を検討している企業の財務・サステナビリティ情報のプラットフォームに集約される予定 

出典：European Commission「Sustainable finance package」（https://finance.ec.europa.eu/publications/sustainable-finance-package_en）より株式会社日本総合研究所作成

国内における繊維製品の資源循環の現状

- 現在（2022年）、年間約73万トンの衣類が使用後に手放され、手放された衣類の約35%がリユース（18%）、自動車の内装材や産業用ウエスといった産業資材等へ利用（17%）されているが、残り（約65%）は廃棄されている状況。

2022年版 衣類のマテリアルフロー



出典：経済産業省

出典：環境省「令和4年度循環型ファッションの推進方策に関する調査業務」（2023）。

国内における二次流通（リユース）市場の参入事例



**REDUCE
REUSE
RECYCLE**

地球のように
回してみよう。

MUJI CYCLE

回収します。
無印良品の服、収納、ボトル、
などなど。

お持ちいただいた商品は、リユース・リサイクルを経て、次の方につなげます。



POP-UPストア詳細

2024.3.29金 - 8.31土
ユニクロ 世田谷千歳台店(東京)

2024.4.12金 - 8.31土
ユニクロ 天神店(福岡)

2024.7.19金 - 8.18日
ユニクロPARK横浜ベイサイド店(神奈川)

出典：ユニクロwebサイト

衣料品の回収

対象：無印良品で販売している衣料品全般
(下着・靴下・靴・バッグは対象外)

無印良品では、お客さまに長年愛用していただいた服を回収し、まだ着ることができ
る服を日本で染め直し、アップサイクルし
て衣料品として再生、「ReMUJI」として販
売しています。

[ReMUJIの詳細を見る](#)

プラスチック収納用品の回収

対象：無印良品で販売しているポリプロピ
レン/ポリエチレン収納

基準をクリアしたものは中古品として再度
販売。基準に満たないものは、粉碎・洗浄
した後、無印良品の商品に生まれ変わります。

[回収対象商品はこちら+](#)

[対象商品リストはこちら](#)

スキンケアPETボトルの回収

対象：無印良品で販売している化粧水/乳液/
導入化粧液全シリーズのPETボトル (50mL
は対象外)、自分で詰める水のボトル

回収したPET素材のボトルをリサイクルす
ることで、プラスチックごみを削減し、石
油由来原料の有効活用につなげています。

[回収対象商品はこちら+](#)

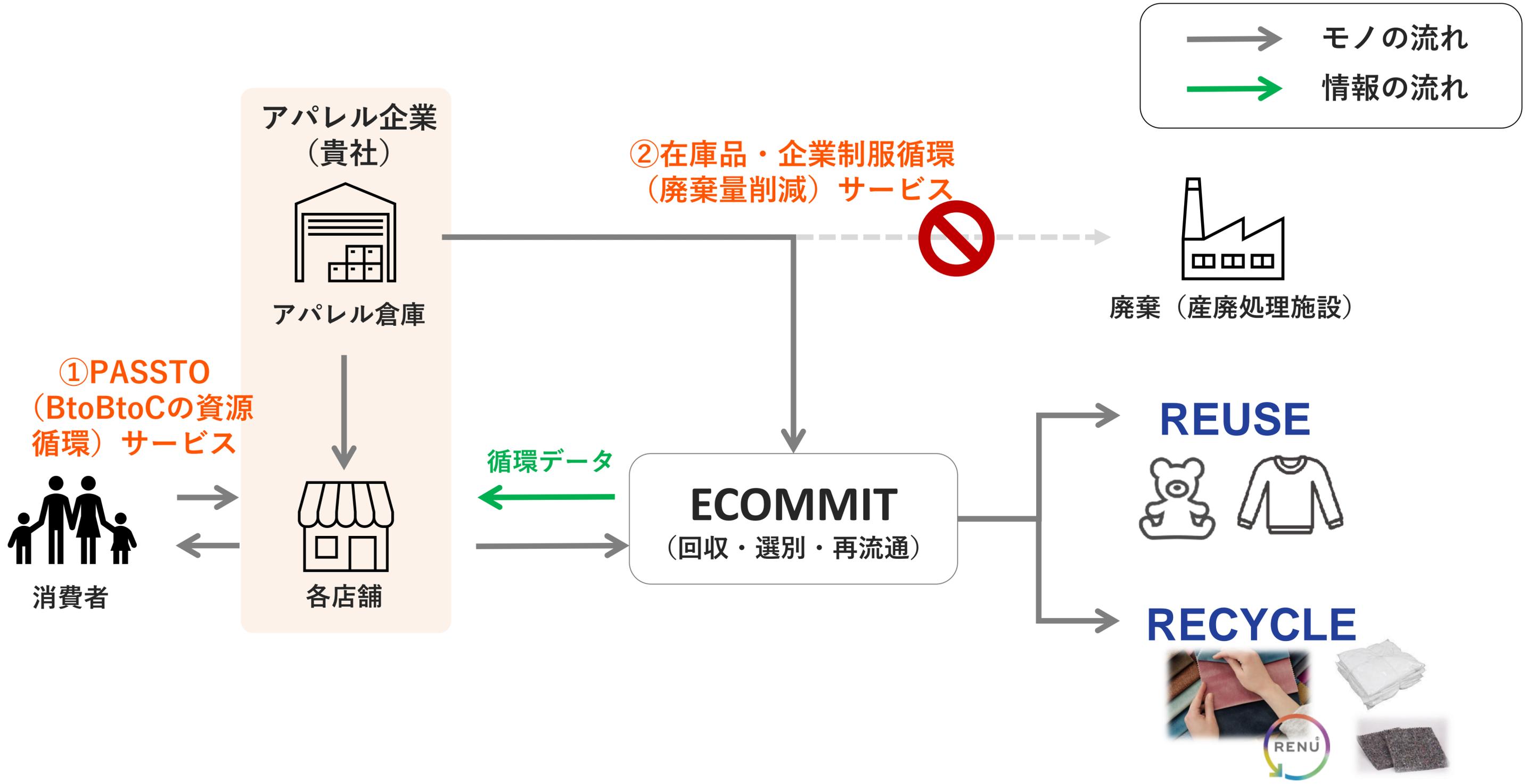
出典：良品計画webサイト

■ アウトライン

- ECOMMIT事業概要
- 国内外におけるアパレル関連動向
- **ECOMMITの循環スキーム**
- 九州における取組



ECOMMITの資源循環の全体像（衣料品版）



①PASSTO (BtoBtoCの資源循環) サービス



売る?捨てる?パストする!

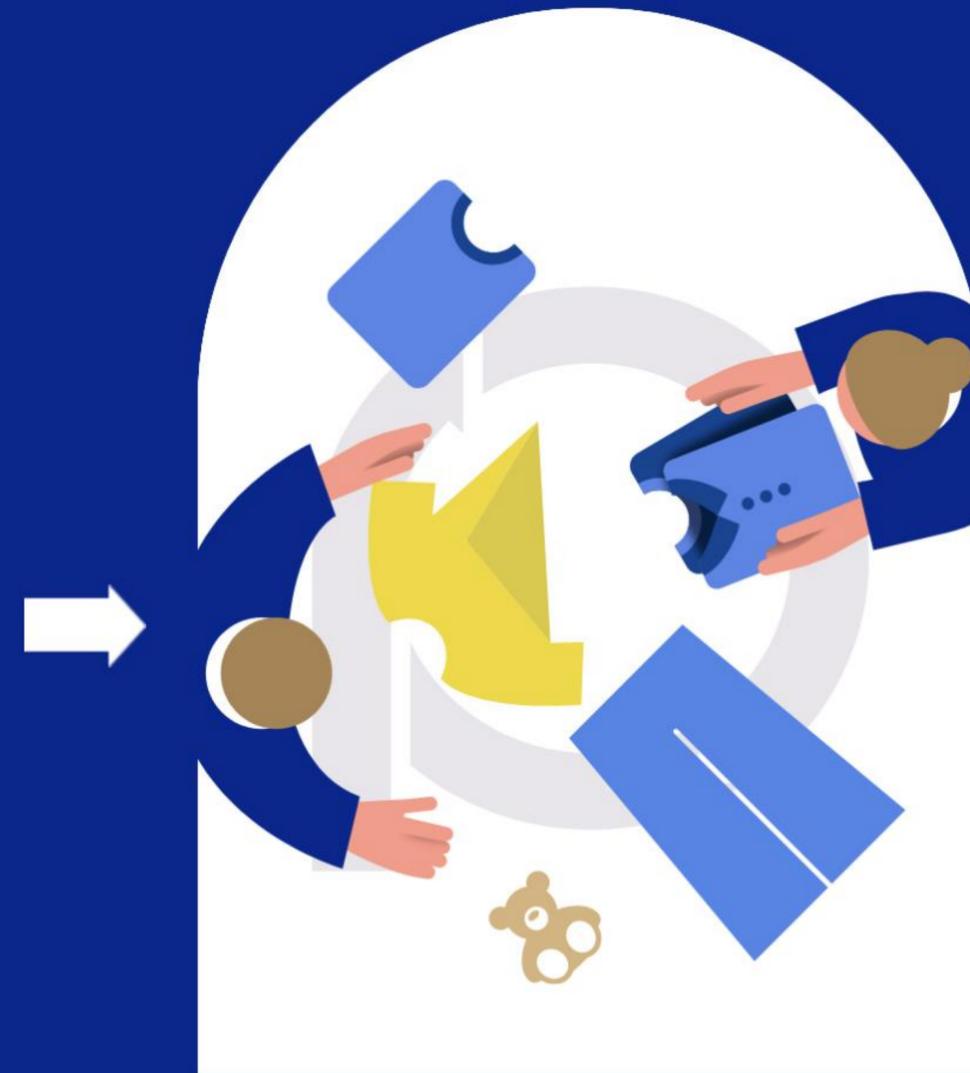
PASSTO

SCROLL DOWN

生活に身近な場所で、
消費者が手軽に不要品を手放せる場所と仕組み



お近くのパストBOXへ投函 or
協力店に持ってくるだけ



PASSTOが回収・選別・再流通



次のユーザーへパスト

PASSTO



PASSTOサービス導入の拡がり

関東から九州を中心に、広い顧客接点を持っている

多くの企業に導入が進んでおります※



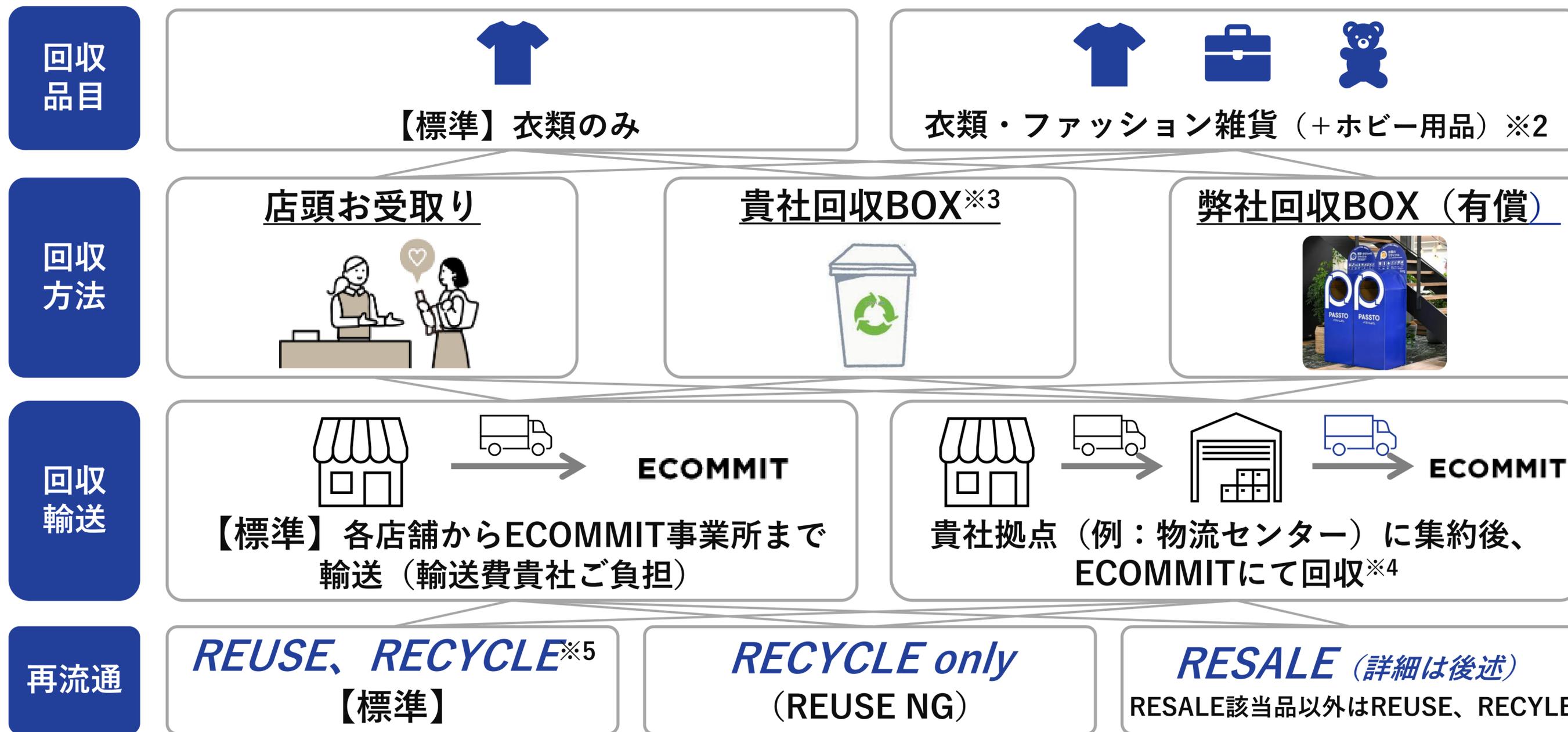
出典：<https://www.passto.jp/>（8月末現在）

※BOX設置箇所ではなく、店頭受取の場所も含まれております。

※拠点によって受取可能アイテムが異なります。

循環設計のカスタマイズが可能

導入先様のご要望に応じて多様な循環設計が可能※1



※1：サービスパターンによってサービス単価が異なります。また、カスタマイズの内容によってはトレーサビリティの範囲が限定される可能性があります。予めご了承ください。

※2：衣類以外を回収品目とする場合は、貴社拠点に集約後、ECOMMITにて回収する方法に限られます。

※3：オリジナル回収ボックスのデザイン・制作も可能です（有償）。

※4：定期回収の場合はECOMMIT/ECOMMIT回収パートナーの対応可能エリアのみとなります。

※5：ECOMMITの選別ルールに従って選別し、流通先を決定いたします。

(参考) 取扱品目概要

回収OK

衣類



トップス



ボトムス



ジャケット・コート



シャツ



スカート

例えば・・・
トレンドが過ぎて、出番が少なくなった服、
体型が変わってもう着れなくなった服

ファッション 雑貨



キャップ



腕時計



財布



バッグ



ベルト



アクセサリー

例えば・・・
新しいものを買って、使わなくなった服飾雑貨

ホビー用品



ゲームソフト



ミニカー
プラレール



リール



ブロック



フィギュア
ソフビ人形



ぬいぐるみ

例えば・・・
成長と共に着れなくなった子供服、
何となく捨てづらいぬいぐるみ、お祝いにいただいたおもちゃ
以前使っていた趣味のスポーツ用品、
買替えて出番が少なくなった生活雑貨、
数が増えてきて置き場がないキャンプ用品

回収NG



靴下・肌着



水着



着物



制服・体操着
ユニフォーム



香水



靴・スリッパ
上履き



ジュエリー類



パーツが足りない



壊れている物

■ アクセサリー、ブロックなど細かく散らばるものは袋に入れてください。 ■ 一度回収したものは返却できません。 ■ 汚れたものを入れないでください。

PASSTOの来店促進効果

＜サステナビリティ消費の動向調査：来店促進効果も＞

環境省実施調査と比較すると、一人あたり年間の衣服購入枚数が少なく、服を手放す手段として、75%がリユースや資源回収を活用
衣類回収ボックス利用ユーザーの73%が40～60代の女性で、61%が「環境に貢献できること」を理由に利用し、43%が衣類回収ボックスの利用を
目的として設置店舗へ来館していること回答。また、衣類を手放す手段として、環境省が実施した調査に比べて廃棄する割合が少なく、
リユース（再販売、寄付、譲渡）や回収サービス利用の割合が多いことも明らかになりました。



<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000049.000067508.html>

だから、次の人に渡っていく。

リユースを優先し、丁寧に選別。リユースできない資源はリサイクルで素材に戻す。
環境負荷を最小限に。経済価値を最大限に。再資源化利率は“98%”以上。

リユース **85%**

※期間：2024年6月～7月

マッチング力がなければ実現できないリユース率

プロピッカーによる目利きと、販売管理によるマッチング力によって、再流通率は98%以上、リユース率85%を実現しています。アジアはもちろん、ヨーロッパや北米など世界各国からのニーズがあり、質にこだわる古着屋さんからも、大きな信頼をいただいています。

再流通率
98%以上

リサイクル **13%** 以上

※期間：2024年6～7月

リユースできない資源もあきらめない。リサイクルから素材を生み出す。

リユースが難しいものは、リサイクルパートナーと共に、資源循環を行っています。優先するのは環境負荷の低い方法。中でも、ものづくりの現場に再生素材を戻していくことで、ものづくり自体のあり方を変えることをPASSTOは目指しています。

再流通率

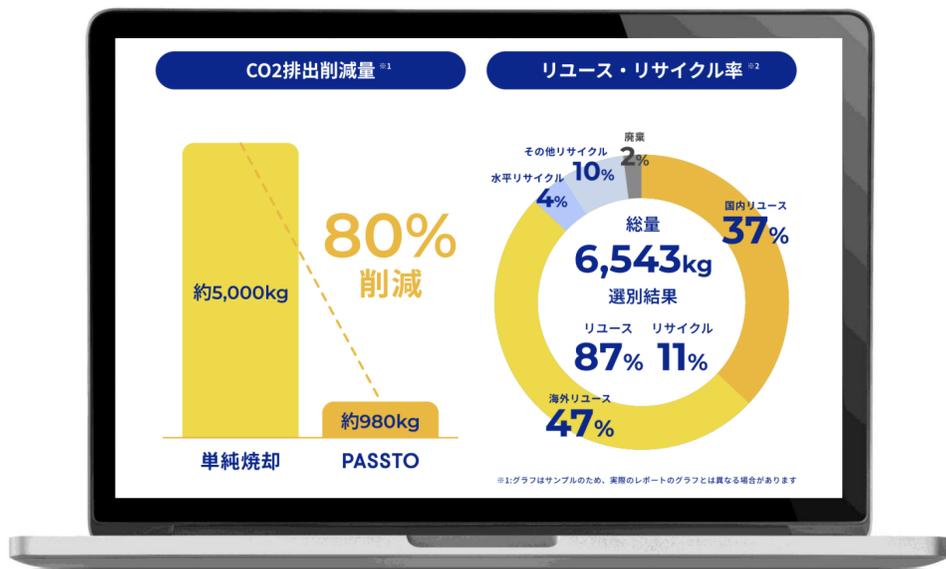
98%以上

※再循環率は回収場所や時期等によって異なります

PASSTOが選ばれる理由

1

透明性の高い
資源循環を実現

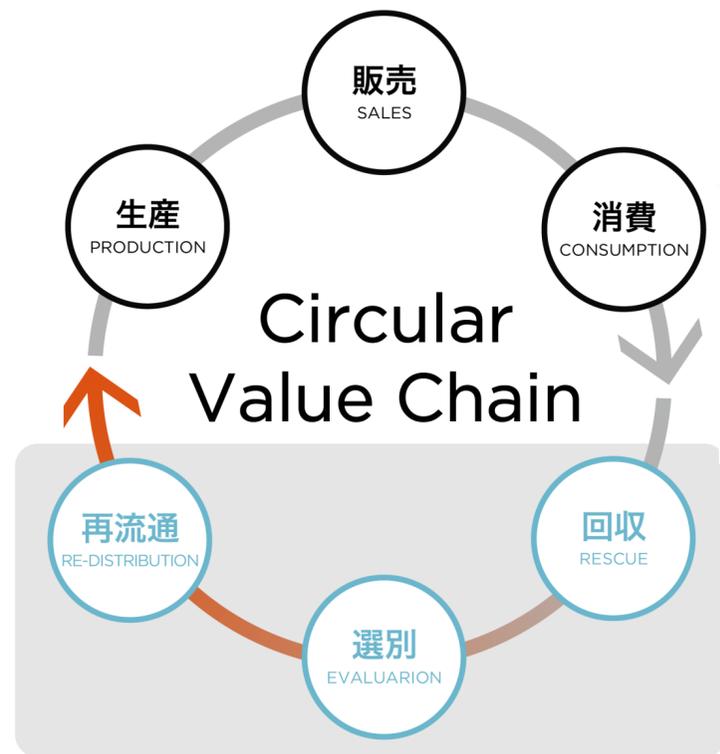


CO₂排出削減量を可視化

取組を通じた資源循環を可視化し、
CO₂排出削減量等をレポートニング

2

貴社の要望に応じて
カスタマイズが可能



単なる衣料品回収から脱却

貴社の事業方針に沿った
衣料品循環を実現

3

実施ハードルが低く
持続性が高い



コストリーズナブル

既存事業者よりも
コストリーズナブルに取組実施可能

②在庫品循環（廃棄量削減） サービス

世界で二番目の環境汚染産業と言われるファッション業界。

ECOMMITはこの急務である変革に取り組むため、持続可能性の高いイニシアティブの推進を行っていきます。

脱炭素化とサーキュレーションエコノミーを取り入れることで、

アパレルから**廃棄物ゼロ**を達成することは**可能であるだけでなく不可欠である**と信じています。

アパレル単純廃棄ゼロの実現

サステイナブル経営に向けた施策

✓ 排出される廃棄物を削減することでCO2排出量（Scope3）を削減

✓ トレーサビリティを確保した透明性の高い資源循環を実現

循環サービススキーム

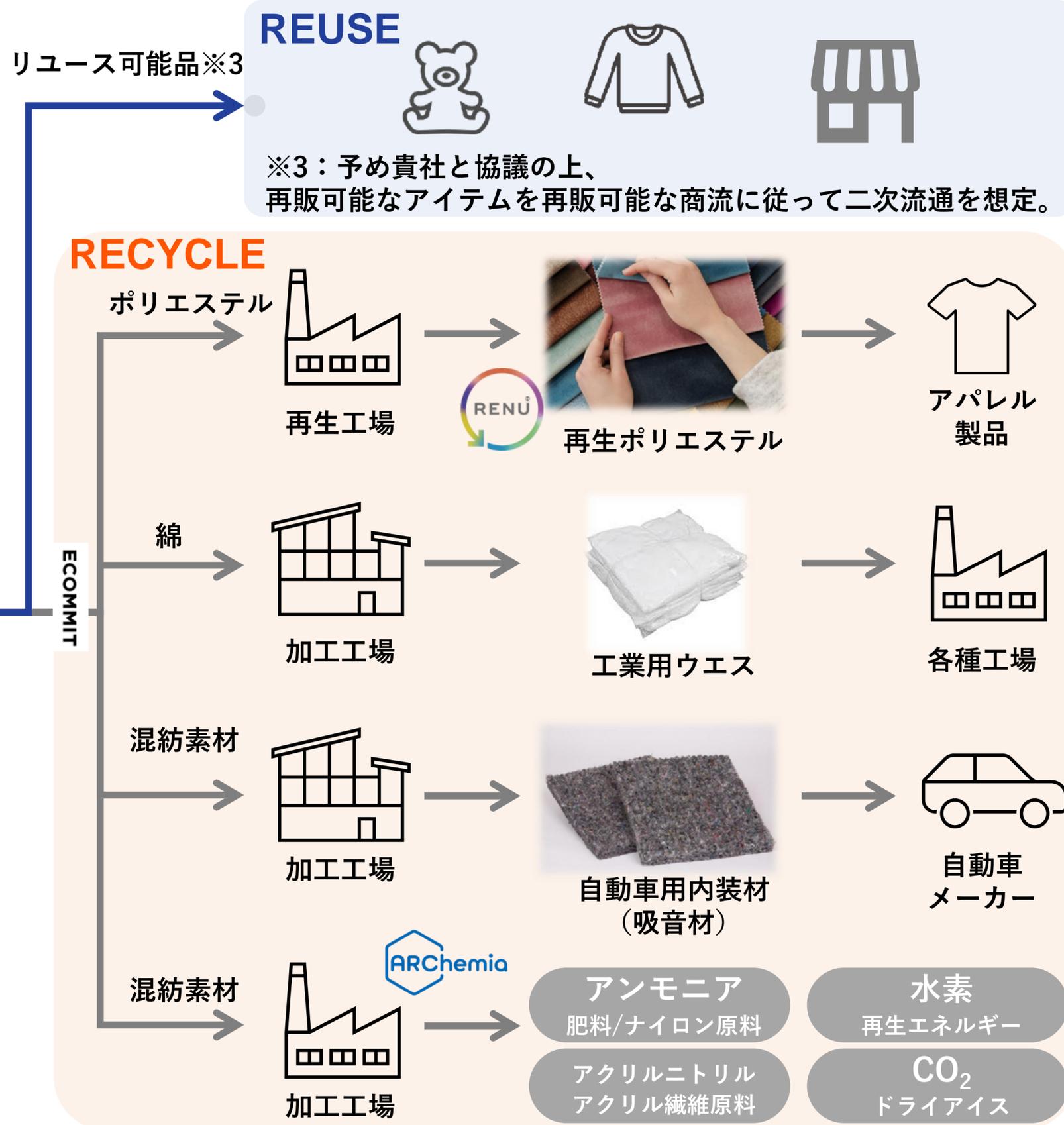
回収されたりサイクル対象品に関して、ECOMMIT独自開発のシステムを用いてトレーサビリティを確保しながら、素材ごとに適した循環手法をとることにより**環境負荷低減**と**価値最大化**を考慮した循環スキームをご提案します。



※1：衣類は専ら物という前提で輸送をいたします。

ECOMMIT循環スキームの特徴

- ✓ アイテムや素材に適した循環先を1点ずつ選択
- ✓ サーマルリカバリーを含めないリサイクル手法のみで構成※2
- ✓ トレーサビリティを確保した循環スキームを実現



※2：ECOMMITではサーマルリカバリーをリサイクルとして定義しておりません。

ケーススタディ

アパレル関連企業様及び企業制服リサイクル希望されるお客様から多数のご依頼を頂いております。

1

グローバルブランド企業
(日本法人) A



アパレル在庫の
適正リサイクル処理

【対象品】 アパレル在庫
【循環方法】 リサイクルのみ

【実施概要・背景】

数年前まではアパレル在庫を焼却処分していたが、グローバル本社から焼却処理NGの指示があり、広範なアイテムをリサイクル対応可能な当社に依頼。

2

グローバル企業B



製造時に生じる
不良製品のリサイクル処理

【対象品】 製造不良品
【循環方法】 リサイクルのみ

【実施概要・背景】

製造時に一定量発生するミスプリントTシャツについて、焼却以外の処理方法を模索する中で当社にご依頼。

3

国内アパレル企業C



不良在庫に関する資源循環

【対象品】 アパレル在庫
【循環方法】
リユース・リサイクル

【実施概要・背景】

同社のアパレル在庫について、焼却処理ではなく、リユースも含めた形（ブランド観点でリユースNGのアイテムはリサイクル）で流通させ、単純廃棄をゼロにする目的で当社にご依頼。

4

国内メーカーD



企業制服に関する
リサイクル処理

【対象品】 企業制服
【循環方法】 リサイクルのみ

【実施概要・背景】

制服の仕様変更により、既存制服を焼却処理ではなくリサイクル処理を実施。Scope3におけるCO₂排出量削減を目指し、トレーサビリティを確保したリサイクル処理を行うため当社にご依頼。

■ アウトライン

- ECOMMIT事業概要
- 国内外におけるアパレル関連動向
- ECOMMITの循環スキーム
- 九州における取組状況や展望



九州における事例紹介①イオン九州様

イオン九州42店舗（イオン・イオンスタイル）において衣料品・雑貨を常設回収

AEON NEWS RELEASE

木を植えています
私たちはイオンです

2024年8月28日
イオン九州株式会社

着なくなったあなたの一着が未来の一着に。循環するモノ作りを目指して

2024年9月2日（月）から衣料品・雑貨などの常設回収を 九州内「イオン」「イオンスタイル」42店舗にて開始

イオン九州株式会社（以下 イオン九州）は、株式会社ECOMMIT（本社：鹿児島県薩摩川内市）と株式会社カイトックファミリー（本社：岡山県岡山市）と連携して、9月2日（月）より九州内の「イオン」「イオンスタイル」42店舗に回収ボックス「PASSTO（パスト）」または「MUDAZERO（ムダゼロ）」を設置し、不要になった衣料品や雑貨・ホビー用品の常設回収を開始いたします。



イオン始良店の常設回収ボックス「PASSTO(パスト)」

九州における事例紹介②ミスターマックス様

ミスターマックス全56店舗において衣料品・雑貨を常設回収

ミスターマックス全店で 不要品の資源循環サービスを導入

2024年1月より一部店舗にて取り組みを開始した、不要品の回収・選別・再流通を一気通貫で行う資源循環サービス「PASSTO (パスト)」(株式会社ECOMMIT、本社:鹿児島県薩摩川内市、代表取締役CEO:川野 輝之)について、同年2月より全56店舗で導入し、各地域の廃棄物の削減・資源循環に貢献しています。

衣類やファッション雑貨、ホビー用品など店舗で回収した不要品を、ECOMMITが国内外でリユース品として再流通させるほか、リユースが難しいものに関してはリサイクルパートナーを通じて再資源化しています。

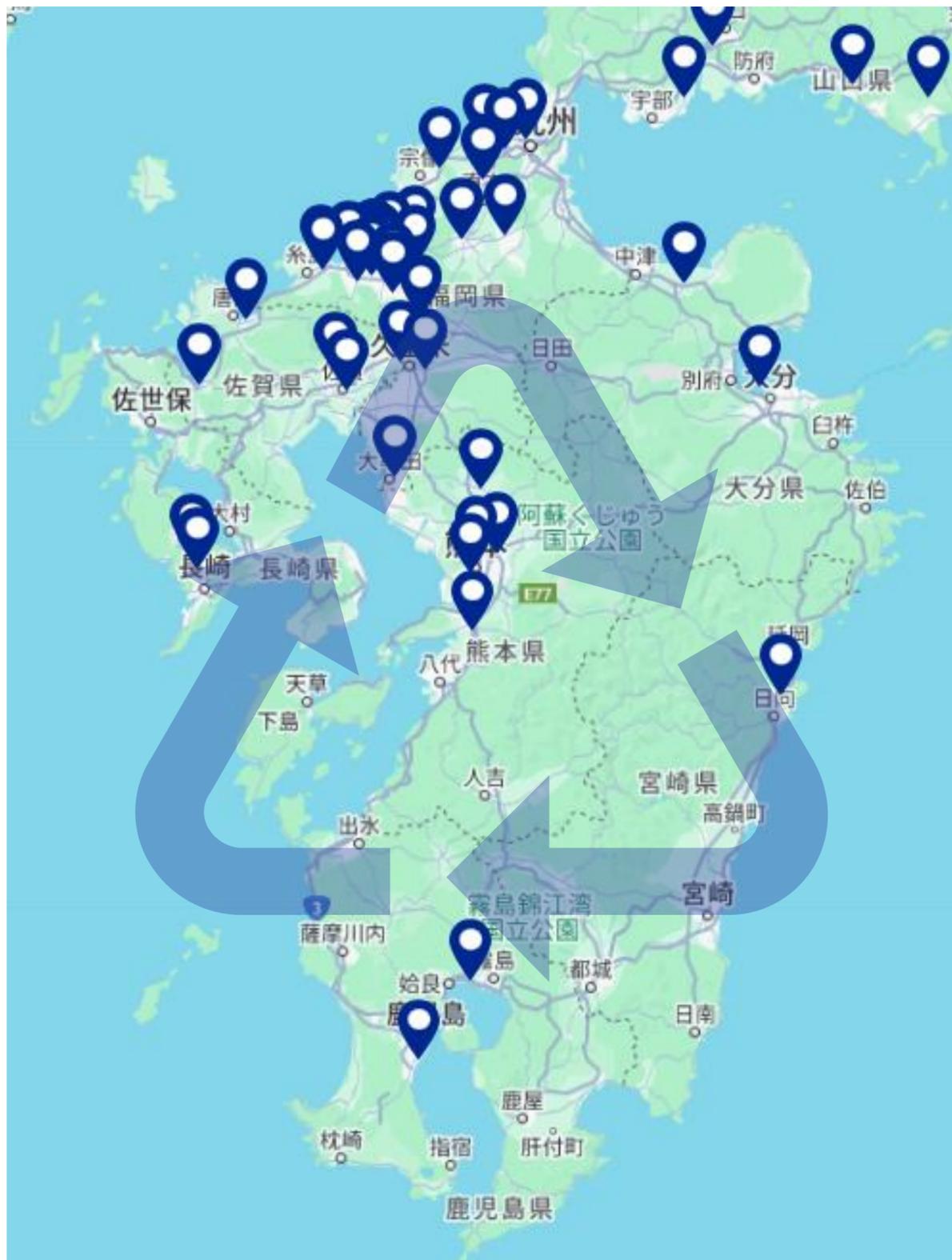


出典：ミスターマックス統合報告書



出典：ミスターマックス公式X

九州における今後のビジョン



九州で完結する資源循環スキームの実現

1. **回収拠点の拡大**
⇒ PASSTOの拡大（商業施設・オフィス等）
2. **九州圏内における資源循環率の向上**
⇒ 各社様がアクションしやすいサービス提案
（例：制服リサイクルサービス等）
3. **九州におけるリサイクルパートナーの開拓**
⇒ 混紡素材（例：ポリエステル綿）など

九州企業が参画する
サーキュラー”エコノミー”スキームの確立

THANK YOU



PASSTO Web



PASSTOムービー



Instagram

ECOMMIT

地球にコミットする循環商社

■ アウトライン

- Appendix



PASSTO Instagram

PASSTOやごみ／環境問題
などについて情報発信



<https://www.instagram.com/passto.jp/?hl=ja>

PASSTOマガジン

PASSTOのユーザーや導入事例
など深く掘り下げて紹介

おすすめ記事
PASSTOマガジン vol.3
「パストしたモノって
どうなってるの？」



<https://note.com/passto/>

PASSTO BRAND ムービー

PASSTOに関わる方々の
想いを伝える



[PASSTO BRAND MOVIE \(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=nWdGPgCW8S4)

ICC カタパルト・グランプリ

日本最高峰のピッチイベント
ECOMMIT代表 川野の優勝プレゼン



<https://www.youtube.com/watch?v=nWdGPgCW8S4>



みんなの不要品、
回収中！
衣類の
リサイクル



PASSTO
バストしよう。

PASSTO

あなたの街の循環ステーション